

ペーパークラフト Marisa 魔理沙

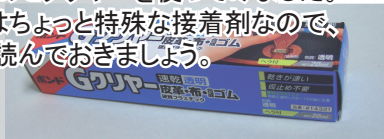
組立説明書

用意するもの

接着剤

速乾ボンド

今まではコニシボンドのG17を使っていましたが今回は同社のGクリヤーを使ってみました。速乾ボンドはちょっと特殊な接着剤なので、使用方法を読んでおきましょう。



切るもの

デザインナイフ

作者が使っているのは田宮模型のもの。



ハサミ

有れば便利です。

のり付けペラ

接着剤を塗るためのペラです。作者は普通のカッターナイフと小さいマイナスドライバーを使っています。金属製で平らな面が有る物が良いです。



押えペラ

接着部を押えるのに使います。作者はワリバシを削った物を使っています。



その他

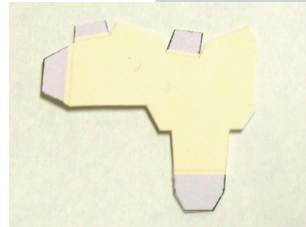
サインペンのような滑らかで筒状の物。紙に曲リゲセを付けるのに使います。



エッジの立った金定規など。のりしろなどを折るのに使います。作者は15cmの金定規を使っています。



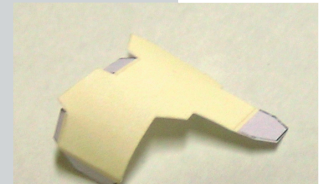
左の道具を使ったパーツ作成の例



濃い肌色の線に沿って、のりしろ部を折ります。

※ のりしろ部は、少し逃げた位置からグレーになっています。切る、折る、接着する場合は、地の色より少し濃い色線を参考にしてください。

曲面になるパーツなので、曲リゲセをつけます。



下準備が出来た状態のパーツ。

のりしろのオス部、メス部の両方にノリをつけます。



ノリを少し乾かします。



接着部をギュッと押しつけます。

完成。

ちなみに作者が使用している紙は110kgのケント紙です。

説明書全体を通しての注意点

- ※ のり付けは、説明書の図などを参考に、その場で必要な部分だけにノリを付けていくようにしてください。
- ※ 基本的に、地の色より少し濃い色線は折線です。
- ※ 図中に出てくる太線は接着に関係無いために見落としがちな折線などです。また、パーツののりしろ内に太線が有る場合は、対応するのりしろにも太線が有りますので接着時の参考にしてください。
- ※ 実際に作り始める前に、展開図や写真を参考にしながら説明書を流して読んでみるのがオススメです。